

# サクラを枯らす 外国産カミキリ が勢力を拡大中!

**!** 被害を見つけたら直ちに通報をお願いします

昨年6月、市内で初めて特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」が見つかりました。繁殖力が非常に強く、幼虫が幹の内部を食い荒らして枯らしてしまいます。桜並木や果樹園が深刻な被害を受けている都市もあり、厳重な警戒が必要です。

お花見ができなくなるかも!?



## 市民の皆さんへのお願い

以下の手順で身の周りの樹木を観察し、被害を見つけたらすぐにご連絡ください。寄生された樹木は比較的簡単に見分けられます。皆さんの力でサクラなどの樹木を守りましょう!

観察の手順

- ①サクラ・ウメ・モモ・スモモの4種類の樹木で、根元から高さ2mくらいまでの幹や枝の表面を見る  
※被害はこの4種に集中しています
- ②幼虫が出すフラス(木くずとフンの混合物)がないか確認  
※幼虫は木の中に潜み、穴を開けてフラスを出します
- ③フラスを見つけたら木の種類と場所をなごや生物多様性センターに連絡

## フラスの特徴



- 生木特有の明るい黄土色やオレンジ色
- 樹液で固まり挽き肉状になっている場合もある
- 粒子はゴマを薄切りにしたような形



被害樹木の皮を剥いだ様子  
幼虫の食べた跡がまだら模様に見える



樹皮の内側に  
潜む幼虫



成虫  
(6~8月に発生)

問合せ なごや生物多様性センター ☎ 831-8104 FAX 839-1695 市ウェブサイト

クビアカツヤカミキリ

検索